

## 1 事業報告

科学的で効果的な健康づくりの方法の研究等を通して、市民の自主的な健康づくりを支援することにより、その健康的な生活習慣の確立を図り、もって市民の福祉の向上に資することを目的として、次の事業を行った。

特に、福岡市の健康づくりのコア施設として、「歩く健康づくり」、「たばこ対策」、「糖尿病予防」、「介護予防」を主要な柱として、市民の健康づくりを福岡市及び関係機関・団体、関係施設と連携して支援した。また、平成20年度から実施された「医療制度改革」に対して、当財団が培ってきた技術・ノウハウを活かし、特定保健指導等新たな分野への取り組みを行った。

### (1) 指定管理者としての業務

福岡市健康づくりセンターの指定管理者として、次の事業を行った。

#### ア 調査・研究事業

##### (ア) 健康度診断

市民の多様なライフスタイルに応じ、医学的な検査や体力測定、生活習慣のチェックをもとに一人ひとりにあった健康づくりを支援した。

a 健康度診断1日コース 40回

##### (イ) 健康づくりに関する調査及び研究

健康度診断・健康教室等のデータを大学等の関係機関と協力して解析するとともに、健康づくりの方法、支援方法について研究した。

a メタボリックシンドロームを含めた生活習慣病撲滅プログラム作成のための基礎研究

b 介護予防事業における新プログラム（祝いめでた体操）の開発

c 骨粗鬆症予防プログラム開発のための基礎研究

d 調査研究に関する専門委員会

「福岡市健康づくり研究委員会」の開催 1回

##### (ウ) 特定健診・特定保健指導

福岡市国民健康保険加入者を対象に特定保健指導を行った。 19回

##### (エ) 健康づくり運動促進事業

身近な場所での運動習慣の定着を図るため、各区保健福祉センター（保健所）のヘルスアップスクールの受講生及び健康づくりセンターの健康度診断受診者を対象として運動処方等の提供等を行った。

#### イ 教育・研修事業

健康づくり指導者の知識及び技能の向上並びに関係各施設における指導の統一性を図るため、体系化した研修を行った。

a 各区保健福祉センター（保健所）職員等研修 11回

b 地域リーダー育成 2講座（1講座5回及び3回）

#### ウ 普及・啓発事業

##### (ア) 普及・啓発

市民の健康づくりの動機づけや実践を促進するとともに、市民参加の健康づくりの普及啓発を行った。特に「健康日本21福岡市計画」の普及・啓発を図るため、パンフレットを作成するとともにイベントを開催した。

a 「健康づくりセンターNEWS」「パンフレット」等の発行によるPR

b ホームページによる情報提供

c 携帯サイトによる若者への健康づくり情報発信機能の充実

d 健康日本21福岡市計画の普及啓発強化

(イ) たばこ対策の推進

禁煙教室を開催し禁煙をサポートするとともにたばこ対策を総合的に推進するためパンフレットを作成した。また、世界禁煙デーにあわせてパネル展示など禁煙普及イベントを開催した。

- a 禁煙教室 8回
- b パンフレット「たばこについて考えよう」
- c 世界禁煙デー関係イベント(福岡市医師会, 福岡市薬剤師会と共催)

(ウ) 講座・教室等の開設

健康づくりの普及や正しい知識を市民が身につけることを目的とした栄養, 運動, 歯科など多面的に健康づくりに関する講座、教室を開催した。

- a 糖尿病教室(1日糖尿病教室) 6回
- b 歯周病予防教室(妊婦歯科健診含む) 40回
- c 働くママとパパのマタニティスクール 10回

(エ) 展示室の運営

子どもから大人まで楽しく遊びながら学ぶことができる体験型展示施設「ウエルネス・ストリート」の運営を通して、よりよい生活習慣を身につける健康教育事業を行った。また、少年科学文化会館と連携し、「一日学習」の一環として小学3年生を対象に健康学習を行った。

平成20年度利用者数 45,243人

(オ) 図書資料室の運営

図書資料室の運営を通して、専門図書室としてのレファレンスサービスの充実を図りながら健康づくりに関する情報の収集及び提供を行った。

平成20年度貸出冊数 13,045冊

(カ) 健康づくりに関する相談

面接、電話等による健康づくり全般に関する相談業務を随時行った。

エ 健康づくりセンター等の維持・管理

福岡市健康づくりセンター等複合施設の維持管理を行った(健康づくりセンター以外の施設については、福岡市からの委託業務として実施した。)

- (ア) 建物の警備、清掃等
- (イ) 附属設備の保守管理及び運転
- (ウ) 受付案内
- (エ) ホール・講堂等管理業務

(2) 自主事業

自主事業として、次の事業を行った。

ア 調査・研究事業

- (ア) ニコニコペースの運動教室(健康運動教室) 12講座(1講座13回)
- (イ) 健康づくりに関する調査及び研究  
市民の健康や健康づくりに関する調査や研究を行った。
  - a 健康度診断受診者の縦断研究
  - b 特定保健指導の実施とプログラム検証(厚生労働科学研究費補助金研究を含む)

イ 教育・研修事業

企業、地域指導者等の健康づくり指導者等を対象に研修を行った。

- (ア) 日本医師会認定産業医研修 4回
- (イ) 地域指導者研修(老人クラブリーダー等) 1回
- (ウ) 健康づくり指導者研修(健康運動指導士等) 2回
- (エ) 特定保健指導研修会 1回

## ウ 普及・啓発事業

指定管理者として実施する教室・講座とあわせ、自主事業として市民の健康づくりの動機づけや実践を促進するための教室等を開催した。

### (ア) 普及・啓発

マスメディアを通して健康づくりの普及を図った。

### (イ) 健診等事業

生活習慣病予防のため、医学的な検査や体力測定など一人ひとりにあった健康づくりをアドバイスし、生活習慣改善に役立てた。

a 運動強度測定(運動プログラム作成)コース	24回
b 体脂肪・骨塩量測定	35回
c 禁煙外来	51回

### (ウ) 教室・講座の開催

a ウォーキング実践教室	11回
b 親子食育講座	2回
c 糖尿病食を学ぶ料理教室	2回
d 企業向け健康教室	4回
e フォローアップ教室	12回
d にこにこルーム	240回
e 出前「禁煙教室」(中央区健康フェア)	1回
f 特定保健指導(福岡市職員健康保険組合から受託)	4回

### (エ) 特別企画展

a 骨と関節の日講演会(福岡臨床整形外科医会と共催)	1回
b ふくおか市民糖尿病教室(福岡市医師会、福岡県栄養士会等と共催)	1回
c 糖尿病パネル展	1回
d あいれふフォーラム「薬と健康」(福岡市薬剤師会と共催)	1回
e 市民公開講座	2回

### (オ) 歩く市民づくりの推進

ウォーキング大会「第11回シティウォーク in ふくおか」の開催

参加申込 4,123人

### (カ) 栄養教育(食育)の推進

#### a 食事バランスガイドの普及

百貨店催事に食事バランスガイドをテーマにしたブースを設置し、普及活動を実施した。

1回

#### B 「食育五輪2008 in ふくおか」への参加

農林水産省「平成20年度にっぽん食育推進事業」に参加し、「食」関係者と食環境整備を行った

### (キ) 心の健康度を評価するツール開発(久留米大学との共同研究)

「いきいき度質問表」、「いきいき度質問表実施マニュアル」作成

2 貸借対照表(平成21年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金	77,689,903	86,149,333	8,459,430
未収金	600,670	1,472,643	871,973
流動資産合計	78,290,573	87,621,976	9,331,403
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産投資有価証券	239,970,000	239,850,000	120,000
基本財産引当預金	31,198,000	31,318,000	120,000
基本財産合計	271,168,000	271,168,000	0
(2) 特定資産			
什器備品	1,995,000	1,995,000	0
什器備品減価償却累計額	1,935,148	1,915,199	19,949
退職給付引当資産	858,000	546,000	312,000
調査研究事業引当資産	8,000,000	8,000,000	0
特定資産合計	8,917,852	8,625,801	292,051
(3) その他の固定資産			
什器備品	1,676,500	1,046,500	630,000
什器備品減価償却累計額	629,634	160,270	469,364
電話加入権	741,600	741,600	0
その他の固定資産合計	1,788,466	1,627,830	160,636
固定資産合計	281,874,318	281,421,631	452,687
資産合計	360,164,891	369,043,607	8,878,716
負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	55,242,847	68,267,275	13,024,428
預り金	1,550,097	1,658,939	108,842
流動負債合計	56,792,944	69,926,214	13,133,270
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	858,000	546,000	312,000
固定負債合計	858,000	546,000	312,000
負債合計	57,650,944	70,472,214	12,821,270
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	279,227,852	279,247,801	19,949
指定正味財産合計	279,227,852	279,247,801	19,949
(うち基本財産へ充当額)	(271,168,000)	(271,168,000)	( 0)
(うち特定資産へ充当額)	( 8,059,852)	( 8,079,801)	( 19,949)
2. 一般正味財産	23,286,095	19,323,592	3,962,503
正味財産合計	302,513,947	298,571,393	3,942,554
負債及び正味財産合計	360,164,891	369,043,607	8,878,716

3 正味財産増減計算書（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
基本財産運用益	2,241,398	2,105,289	136,109
事業収益	439,970,609	451,899,956	11,929,347
受取補助金	2,500,000	3,000,000	500,000
受取負担金	160,000	160,000	0
受取寄付金	19,949	19,949	0
雑収益	920,035	188,461	731,574
経常収益計	445,811,991	457,373,655	11,561,664
（2）経常費用			
事業費	255,204,901	288,879,063	33,674,162
管理費	186,794,587	163,668,592	23,125,995
経常費用計	441,999,488	452,547,655	10,548,167
当期経常増減額	3,812,503	4,826,000	1,013,497
2. 経常外増減の部			
（1）経常外収益			
固定資産売却益	150,000	0	150,000
固定資産受贈益	0	280,000	280,000
経常外収益計	150,000	280,000	130,000
（2）経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	150,000	280,000	130,000
当期一般正味財産増減額	3,962,503	5,106,000	1,143,497
一般正味財産期首残高	19,323,592	14,217,592	5,106,000
一般正味財産期末残高	23,286,095	19,323,592	3,962,503
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	19,949	19,949	0
指定正味財産期首残高	279,247,801	279,267,750	19,949
指定正味財産期末残高	279,227,852	279,247,801	19,949
正味財産期末残高	302,513,947	298,571,393	3,942,554

4 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

ア 固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却方法は、定率法で行っている。

イ 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金及び預り金を含めることとしている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記(2)に記載するとおりである。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産投資有価証券	239,850,000	99,970,000	99,850,000	239,970,000
基本財産引当預金	31,318,000	1,198,000	1,318,000	31,198,000
小 計	271,168,000	101,168,000	101,168,000	271,168,000
特定資産				
什器備品	1,995,000	0	0	1,995,000
什器備品減価償却累計額	1,915,199	0	19,949	1,935,148
退職給付引当資産	546,000	312,000	0	858,000
調査研究事業引当資産	8,000,000	0	0	8,000,000
小 計	8,625,801	312,000	19,949	8,917,852
合 計	279,793,801	101,480,000	101,187,949	280,085,852

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産投資有価証券	239,970,000	239,970,000	0	-
基本財産引当預金	31,198,000	31,198,000	0	-
小 計	271,168,000	271,168,000	0	-
特定資産				
什器備品	1,995,000	1,995,000	0	-
什器備品減価償却累計額	1,935,148	1,935,148	0	-
退職給付引当資産	858,000	0	0	858,000
調査研究事業引当資産	8,000,000	8,000,000	0	0
小 計	8,917,852	8,059,852	0	858,000
合 計	280,085,852	279,227,852	0	858,000

(4) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の記載区 分
補助金						
厚生労働科学研究費補助金	(財)愛知県 健康づくり振 興事業団	0	2,500,000	2,500,000	0	-
負担金						
産業医研修負担 金	福岡市医師会	0	160,000	160,000	0	-
合 計		0	2,660,000	2,660,000	0	-

科 目	金	額
資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	130,500	
普通預金 西日本シティ銀行赤坂門支店	54,796,672	
福岡銀行赤坂門支店	22,762,731	
未収金	600,670	
流動資産合計		78,290,573
2 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産投資有価証券	239,970,000	
基本財産引当預金		
定期預金 福岡銀行赤坂門支店	10,000,000	
西日本シティ銀行赤坂門支店	10,000,000	
福岡中央銀行本店	10,000,000	
ゆうちょ銀行	1,198,000	
基本財産合計	271,168,000	
(2) 特定資産		
什器備品	1,995,000	
什器備品減価償却累計額	1,935,148	
退職給付引当預金	858,000	
調査研究事業引当預金	8,000,000	
特定資産合計	8,917,852	
(3) その他の固定資産		
什器備品	1,676,500	
什器備品減価償却累計額	629,634	
電話加入権	741,600	
その他の固定資産合計	1,788,466	
固定資産合計		281,874,318
資産合計		360,164,891
負債の部		
1 流動負債		
未払金	55,242,847	
預り金	1,550,097	
流動負債合計		56,792,944
2 固定負債		
退職給付引当金	858,000	
固定負債合計		858,000
負債合計		57,650,944
正味財産		302,513,947

6 収支計算書(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	最終予算額	決 算 額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	1,986,000	2,241,398	255,398	投資有価証券利息等
事業収入	452,447,000	439,970,609	12,476,391	福岡市受託収入等
補助金等収入	3,000,000	2,500,000	500,000	厚生労働科学研究費補助金
負担金収入	160,000	160,000	0	産業医研修負担金
雑収入	126,000	920,035	794,035	テキスト等
事業活動収入計	457,719,000	445,792,042	11,926,958	
2. 事業活動支出				
事業費支出	264,837,000	254,715,588	10,121,412	調査・研究、教育・研修、普及・啓発、施設管理等
管理費支出	192,570,000	186,482,587	6,087,413	職員給与費等
事業活動支出計	457,407,000	441,198,175	16,208,825	
事業活動収支差額	312,000	4,593,867	4,281,867	
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	0	101,318,000	101,318,000	基本財産投資有価証券売却収入等
投資活動収入計	0	101,318,000	101,318,000	
2. 投資活動支出				
基本財産取得支出	0	101,168,000	101,168,000	
特定資産取得支出	312,000	312,000	0	退職給付引当資産取得支出
固定資産取得支出	630,000	630,000	0	トレッドミル購入支出
投資活動支出計	942,000	102,110,000	101,168,000	基本財産投資有価証券取得支出等
投資活動収支差額	942,000	792,000	150,000	
財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額計	0	0	0	
予備費	800,000	-	170,000	
	630,000			
当期収支差額	800,000	3,801,867	4,601,867	
前期繰越収支差額	800,000	17,695,762	16,895,762	
次期繰越収支差額	0	21,497,629	21,497,629	

(注) 予備費支出

630,000 円

固定資産取得支出

630,000 円

7 収支計算書に対する注記

(1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記(2)に記載するとおりである。

(2) 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	86,149,333	77,689,903
未 収 金	1,472,643	600,670
合 計	87,621,976	78,290,573
未 払 金	68,267,275	55,242,847
預 り 金	1,658,939	1,550,097
合 計	69,926,214	56,792,944
次 期 繰 越 収 支 差 額	17,695,762	21,497,629